

## 博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学	分野	診療情報管理・分析学
学籍番号	—	院生氏名	横井 美加
通学キャンパス	—		
論文題目	ICD-11 導入時の問題点と悪性腫瘍にかかる医療費の組織型別分類の提言		
審査結果 (枠で囲む)	合格		不合格
<p>&lt;審査結果の要旨&gt;</p> <p>1. 主論文について</p> <p>1) 本研究では、ICD-11 導入時の留意点を明らかにするとともに、悪性腫瘍の治療では組織型によって医療費に差があることを証明し、新たな医療費の包括分類を提案することを目的とした。研究1では、診療情報管理士9名にICD-11についての半構造化面接を実施し、得た回答からテキストマイニングによる分析を行った。研究2では、がん診療連携拠点病院4施設の5大がんの患者を対象として、目的変数を1入院にかかる診療報酬点数、説明変数を部位・組織型としたクラスカル・ウォールス検定、マンホイットニーのU検定を行った。ICD-11では、新しい分類の生活機能分類を使用して日常的動作まで表現することが望ましい。また、胃、大腸、肝臓、肺では組織型による医療費の違いがあり、ICD-11による組織型から分類する新たな医療費の包括分類の開発は可能である。ICD-11への移行は、日本の診療報酬である包括評価制度DPC/PDPSを、より実際の医療費を反映させる評価方法とすることを明らかにした。</p> <p>2) 研究方法(倫理的問題を含む)、論証、論文形式において適切な記載がなされている。</p> <p>3) 本研究の新規性はICD-11導入時に悪性腫瘍による組織型による医療費の差異を明確にした点にあり、ICD-11コーディング作業において臨床現場の診療情報管理士の業務に貢献する研究として高く評価できる。</p> <p>2. 審査会について</p> <p>審査会は1回開催し、初回審査で統計解析方法や考察の論理展開について論文の修正を求めたところ、適切に修正された。</p> <p>3. 口頭試問について</p> <p>口頭試問において適切に応答した。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(診療情報管理学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主査	角田圭雄	
	副査	小平めぐみ	
	副査	江田哲也	